

学校文化の創造

～第71回釜城祭～

6月14日(金)、15日(土)の2日間、県立三木高等学校第71回釜城祭を盛大に実施することができました。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご来場いただきありがとうございました。

1年生の展示、2年生のステージ発表、3年生の模擬店、有志生徒によるダンス、文化部の展示・ステージ発表とバラエティーに富んだ内容でした。そのどれもが、生徒たちの工夫にあふれた楽しい内容でした。ご来場いただいた皆様からは、温かい拍手でステージの生徒たちを見守り、応援していただきましたことに改めてお礼申し上げます。

学校生活が充実するためには、「学び」と「活気」が必要です。そのためには、学校生活の3つの柱である「授業、学校行事、部活動」に、積極的に参加して主体的に楽しもうという姿勢を持つこと、やるからには全力で取り組むことが大切です。誰かほかの人がしてくれるのを待ってはいけません。釜城祭は、三木高校の生徒たちが「学び」と「活気」を具現化する絶好の機会であり、校長としてとても楽しみにしていました。

生徒会長、文化委員長を中心とした生徒会役員が連日遅くまで残って準備をしてくれました。その様子を見て、きっとすばらしい釜城祭になると確信しました。

学校には、それぞれに学校文化があります。三木高校では、学校行事を生徒会が中心となって企画・運営し、全校生が協力して夢中になって取り組み、達成感と充実感の溢れる明るい笑顔が学校に広がる。それが三木高校の学校文化だと思います。95年の歴史と伝統の上に、新たな学校文化を創造していく「学び」と「活気」に満ちた学校にしていきたいものです。

新年度が始まってもうすぐ3か月が経とうとしています。学校行事を一つ終えるたびに、3年生は卒業後の進路実現に向かって自立した18歳として、2年生は来年度の三木高校を引っ張っていく次の最高学年として、1年生は中学生とはひと味違う頼もしい高校生として、一人一人が着実に成長してほしいと思います。

(校長 高橋 信之)